

代表者：神岡太郎（学会会長）

日時：7 月 22 日(木) 17:00-19:00

場所：一橋大学商学研究科 丸の内産学連携センター（東京駅前 丸ビル内）

講演者：矢坂徹氏（ウェッジ・コンサルティング株式会社代表）

タイトル：「不透明なビジネス環境における、IT 戦略の立案・実行 ---持たざる経営の促進（固定費→変動費）クラウドは救世主となり得るか？」

参加者数：13 名（参加者名簿は別に提出する）

内容

代表者の神岡が司会をする形で進められた。参加者の相互交流の時間を十分とるという方針で、2 時間の時間の半分をディスカッション等のインタラクティブな時間とした（中間に参加者の名刺交換の機会も含めて 10 分の休憩時間ががもうけられた）。

前半の約一時間は、矢坂氏のグローバル製薬企業のアジア・パシフィックでの CIO、そしてその後、CIO に対するコンサルティングの経験に基づき、主に、持たざる経営、持たざる IT という言葉が使われるようになって久しいが、それが現場でどのように考えられているのかをテーマに講演をいただいた。昨今の経営を取り巻く環境の変化に対して、IT 組織やその戦略がどのようにシフトしてきたかということの中で、持たざる経営が注目されてきた経緯が述べられたが、特にクラウドコンピューティングを例に、目的と手段が逆転している等の問題点が指摘された。

後半の約一時間は、参加者の簡単な自己紹介に続いて、ディスカッションが行われた。講演者を交え、参加者のほぼ全員が発言するというような活発な議論の場とり、本年度初回の研究会としては非常によかった。議論はクラウドコンピューティングに集中し、例えば、クラウドコンピューティングにおける本質は何か（これまでと何が異なるのか）、現実にはセキュリティをはじめとする課題の中で、そのメリットとをバランスをどのように考えていくべきか、官の中でクラウドコンピューティングを実現することの難しさ、等が話題となった。

